

教科	科目	単位数	対象学年
地理歴史科	歴史総合	2	4

1. 学習の到達目標等

到達目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する力を養う。
目標を達成するための留意点	年表、地図その他の資料の活用を通して世界の歴史の理解を図り、思考力・判断力・表現力等の育成を育んでいく。また世界の歴史の理解を踏まえて、現代の課題を政治・経済・社会・文化・生活・宗教など様々な観点から考察できる力を育んでいく。世界の構造や成り立ちを歴史的視野から考察し、自己の属する国や地域の理解の上に、国際社会で主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質、態度を養う。
使用教科書	明解 歴史総合（帝国書院）
使用副教材	Winning COM.-PASS 歴史総合の整理と演習（東京法令出版）、明解歴史総合ノート（帝国書院）
評価基準	知識・理解／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	<p>前近代資料 地域の歩み</p> <p>1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料</p> <p>2部 近代化と私たち</p> <p>1章 「近代化」への問い</p> <p>2章 江戸時代の日本と結び付く世界</p> <p>1節 アジアのなかの江戸社会 2節 清の繁栄と結びつくアジア</p> <p>3節 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ</p> <p>3章 欧米で生まれる国民国家</p> <p>1節 イギリスの革命とアメリカの独立</p> <p>2節 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け</p> <p>3節 革命の拡大と国民意識の芽生え 4節 1848年～近代ヨーロッパの転換点</p> <p>5節 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化</p> <p>4章 産業革命による欧米とアジアの変化</p> <p>1節 産業革命で変わる社会 2節 イギリスの繁栄と国際分業体制</p> <p>3節 アメリカの拡大と科学技術の発展 4節 「西洋の衝撃」と西アジアの変化</p> <p>5節 南・東南アジアの植民地化 6節 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争</p> <p>7節 黒船の来航と日本の対応</p> <p>5章 日本における近代国家の形成</p> <p>1節 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 2節 新政府の誕生</p> <p>3節 近代国家を目指す日本</p> <p>6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化</p> <p>1節 帝国主義の広がり与人々の移動 2節 世界市場と日本の産業革命</p> <p>3節 変動する東アジアと日清戦争 4節 列強の中国進出と日露戦争</p> <p>5節 日露戦争が与えた影響</p> <p>7章 「近代化」を振り返り</p>

3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち

1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い

2章 第一次世界大戦とその影響

1節 バルカン半島の緊張と世界大戦への道

2節 第一次世界大戦の展開とロシア革命 3節 大戦終結後のヴェルサイユ体制

4節 東アジアの民族自決 5節 中東・インドの民族自決の行方

3章 大衆社会の形成と社会運動

1節 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 2節 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加

3節 日本における大衆社会の形成 4節 政党政治と国際協調外交の展開

4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方

1節 世界恐慌が与えた影響 2節 ファシズムの台頭と拡大

3節 政党政治の断絶と満州事変 4節 日中戦争の始まり

5章 第二次世界大戦とその影響

1節 第二次世界大戦の始まりと拡大 2節 太平洋戦争の開始とその展開

3節 第二次世界大戦の終結とその傷跡 4節 戦後処理と日本の改革

5節 新たな国際秩序と冷戦の始まり 6節 日本撤退後の東アジア

7節 冷戦の展開と日本の独立

6章 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り

4部 グローバル化と私たち

1章 「グローバル化」への問い

2章 冷戦で揺れる世界と日本

1節 スターリン批判と日本の国際社会復帰 2節 米ソの緊張緩和と各国の動向

3節 第三勢力の形成と脱植民地化 4節 パレスチナ問題と中東戦争

3章 多極化する世界

1節 ベトナム戦争と揺らぐアメリカ 2節 冷戦下の日本とアジアの歩み

3節 「経済大国」日本の影響 4節 経済発展に取り組む東・東南アジア

5節 中東情勢とソ連の弱体化

4章 グローバル化のなかの世界と日本

1節 冷戦の終結と変わる世界構造 2節 冷戦の終結が与えた世界への影響

3節 超大国アメリカと中東情勢 4節 国際環境の変化と日本

5節 グローバル化による国際社会の変容

5章 「歴史総合」を振り返り

教科	科目	単位数	対象学年
理科	生物基礎	2	4年

1. 学習の到達目標等

到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
目標を達成するための留意点	受動的な姿勢で教えを待つのではなく、能動的に理解しようとする姿勢を意識させる。演習を通じて、学習内容を確認し、思考力や応用力を養う。
使用教科書	「生物基礎」(東京書籍)
使用副教材	「リードα 生物基礎」(数研出版)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> *主体的に学習に取り組む態度 *思考・判断・表現 *知識・技能 <p style="text-align: center;">の3つの観点をもとに総合的に評価する。</p>
学習内容	<p>1編：生物の特徴</p> <p style="padding-left: 20px;">1章：生物の多様性と共通性</p> <p style="padding-left: 20px;">2章：生物とエネルギー</p> <p>2編：遺伝子とそのはたらき</p> <p style="padding-left: 20px;">1章：遺伝情報とDNA</p> <p style="padding-left: 20px;">2章：遺伝情報とタンパク質</p> <p>3編：ヒトの体の調節</p> <p style="padding-left: 20px;">1章：体内環境と情報伝達</p> <p style="padding-left: 20px;">2章：免疫のはたらき</p> <p>4編：生物の多様性と生態系</p> <p style="padding-left: 20px;">1章：植生と遷移</p> <p style="padding-left: 20px;">2章：生態系と生物の多様性</p>

2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生物の特徴	生物の多様性と共通性												
	生物とエネルギー												
遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA												
	遺伝情報とタンパク質												
ヒトの体の調節	体内環境と情報伝達												
	免疫のはたらき												
生物の多様性と生態系	植生と遷移												
	生態系と生物の多様性												
				1 学 期 中 間 考 査					2 学 期 中 間 考 査				学 年 末 考 査

教科	科目	単位数	対象学年
保健体育	体育	2	4年

1. 学習の到達目標等

到達目標	各種の運動の合理的な実践をとおして、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動することのできる資質や能力を身につける。
目標を達成するための留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各運動の基本的技能を身につける。 年間を通じての基礎トレーニングにより、体力の向上を図る。 規律規範を守る。
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）
使用副教材	現代高等保健体育 ノート（大修館）、最新スポーツルール（大修館）
評価基準	<p>【知識及び技能】 運動の合理的な実践を通して、各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。また、運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して自ら運動しようとする。</p> <p>以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）などから総合的に判断します。</p>
学習内容	下記の 2. 指導計画参照。 【体育理論】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方

2. 指導計画

学年	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
4	体育	集団行動																																						
		体づくり運動																																						
		新体力テスト																																						
		陸上																																						
		ダンス																																						
		武道	剣道																																					
		球技	ゴール型、ネット型、ベースボール型																																					
		器械運動	マット運動																																					
体育理論	運動・スポーツの学び方																																							

教科	科目	単位数	対象学年
----	----	-----	------

